

# 胃

四年  
 函数 9  
 筆順 田 胃  
 オン イ  
 ツン

成り立ち



食べ物の意味を表した「米」が入った「胃ぶくろ」の形を表した「田」と、「肉」という字がへんかし、「肉体」の意味を表した「月」とを組み合わせて作った字です。「胃ぶくろ」のことを表した字です。

「胃」の音の「イ」は、「食べ物を取り囲んで体にきゅうしゅうする」という「囲（年453）」の音によったものと思われま。

使い方

▽腹八分目に食べていると、胃がすっきりして、健康でいられます。

▽ぼくの胃ぶくろは、大きいにちがいありません。いくら食べても食べても、いつもおなかすいています。

熟語例

▽胃腸（胃と腸。食べものを消化吸収する器官。「胃腸が丈夫なせいで、長生きできた」などというふうになります。）

▽胃壁（胃を形づくっている壁。ひじょうに丈夫な筋肉や粘膜などで、できている。「ストレスで、胃壁に穴があいてしまった」などというふうになります。）

▽胃液（胃から分泌される、消化液。主として、でんぷんを消化する。）

▽胃癌（胃にできる癌。日本人に多い癌の一種。「胃癌の手術を受けたが、幸いに全快した」などというふうになります。）

▽胃潰瘍（胃壁がおかされる病気）

使い方

▽おにさんと二人で、深い山にのぼったことがあります。帰り道がわからなくなるといけないので、木の枝を地面にさして、目印にしました。

▽宅配便が届きました。配達人が「印鑑をおねがいします」と言うので、はんこを持っていきま。

熟語例

▽印判（印。はんこのことです。）

▽印鑑（「印判」と同じ意味です。とくに「実印」のことをいうこともあります。）

▽実印（役所に届け出ておいて、「印鑑証明」が求められる印。一人一個だけと限られています。）

▽認め印（ふだん使うはんこ）

▽封印（封じ目に、印を押すこと。またその印。「書類入りに書類を入れて、しっかり封印した」などというふうになります。）

▽印象（深く心にのこされたもの。「最初に会った時の印象とは違う人だ」などというふうになります。）

▽印刷（インキで、紙に文字や絵などを、すりうつすこと。）

# 印

四年  
 函数 6  
 筆順 ノ イ フ エ エ 印  
 オン イン  
 ツン しるし

成り立ち



人の手には、その人だけにある「しるし」があります。その「しるし」の意味を表した「卩」と、「人」の形を表した「人」とを組み合わせて作った字で、「その人のしるし」という意味の字です。「その人のしるし」となるしるし」という意味を表した字です。

それは、半分にかけておたがいにしようことするので「判（年799）」ともいい、「印判」ということばも作られました。しようこととして認める印なので、「認め印」または「認め」ともいいます。

たんに「しるし」という意味にもつかいます。また、「心に「しるす」という意味（例印象）や「紙に「しるす」という意味（例印刷）にもつかいます。